

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-1-1		事業名	札幌元気基金事業（経営革新支援資金「札幌ブランド推進資金」）
担当	経済局産業振興部産業振興課 大門 211-2356			
全体計画（当初）				
事業内容	以下の製品をもとに事業化する者を対象とし、事業評価機関を活用した無担保融資制度を創設する。 札幌スタイル・デザインコンペティション受賞作品 「札幌スタイル」認証製品 旧Made In札幌グランプリ等受賞製品 融資限度額 5,000万円 融資期間 10年以内 保証料補給 0.35%分		＜年度別の事業内容＞	
			・平成17年度 新規融資額 1億円 ・平成18年度 新規融資額 1億円 経営革新支援資金の予算枠の中で融資実行	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	平成17年度から事業実施		平成17年度は当初予定に加えてデジタルコンテンツ関連事業の作品制作や製品化を行うものも対象として、以下の内容で実施することとした。 1 ブランド関連 札幌スタイル・デザインコンペティション受賞作品 「札幌スタイル」認証製品 2 デジタルコンテンツ関連 映像作品 音楽作品 ゲーム作品 融資限度額 5,000万円 融資期間 10年以内 保証料補給 0.35%分 3 融資実績 融資件数 3件 融資金額 51,000千円 経営革新支援資金の予算枠の中で融資実行	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	平成17年度と同じ内容で実施。 1 ブランド関連 札幌スタイル・デザインコンペティション受賞作品 「札幌スタイル」認証製品 2 デジタルコンテンツ関連 映像作品 音楽作品 ゲーム作品 融資限度額 5,000万円 融資期間 10年以内 保証料補給 0.35%分 資金枠 1億円 3 融資実績 融資件数 0件 融資金額 0千円		融資対象となる中小企業に資金需要がないとは思えないが、結果として資金の利用はなかった。	
課題				
札幌元気基金による融資制度は18年度が最終年度となっており、当該融資制度に対する中小企業者の資金需要が大きかったことから、今後も中小企業の資金ニーズを的確に捉え、融資制度の必要な見直しを検討していく必要がある。				
19年度以降の方向性（事業予定）				
19年度以降、既存の一般中小企業振興資金（特別資金）へ組み込んでいく。				

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 （単位：千円）

施策体系コード	1-1-1		事業名	札幌元気基金事業(経営革新支援資金「札幌ブランド推進資金」)
---------	-------	--	-----	--------------------------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	0	0	0	0	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他				0	-
実績	事業費	0	0	0	0	-
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
財源内訳	0	0	0	0	-	

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

[全体][16年度][17年度][18年度]

平成17年度創設当初は、ブランド関連事業のみを対象とした資金を想定していたが、これに加えてデジタルコンテンツ関連事業の作品製作や製品化を行うものも対象とし、「札幌ブランド・コンテンツ推進資金」として事業を開始したが、2年間の実績は件数で3件、融資額で5,100千円にとどまった。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経臨	枠内外	16年度	17年度	18年度	計
経営革新支援資金貸付金(一部)						0
17年度予算は、「一般資金」に一括して計上。						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			0	0	0	0